

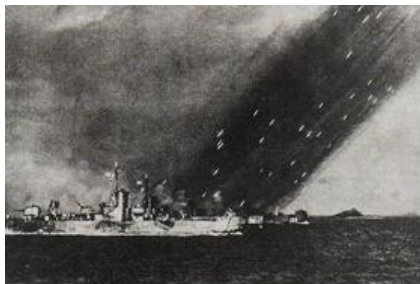
2年生学年だよ

令和2(2020)年7月30日

第15号

吹田市立第二中学校 第二学年

『平和』について、みんなで真剣に考えました



7月28日道德の時間は、沖縄戦についてみんなで考えました。特に今回は「沖縄戦によって沖縄の子どもたちはどうなったのか?」ということをもみんなに知ってもらうために、写真や資料を見たり、「少年兵」として戦争に行った人たちの、当時を振り返ったインタビュー映像を見たりしながら、戦争というものがどれだけ多くのものを奪って

いったのか、どれだけ残酷で悲惨なものかということをも改めて学びました。授業を通して、それぞれが感じたことを意見として出し合い、「平和」について考えた1時間でした。

正直言って「1時間では全然足りない!もっともっとみんなに知ってほしいこと、考えてほしいことがいっぱいある」というのが先生たちの思いです。平和の大切さを改めて感じてもらえたでしょうか。そして「平和ってなんだろう?」「これからの世の中、みんなが平和に過ごすために、自分たちが大切にしていかなければならないことは何だろう?」という、この問いかけを常に自分の中に持っていてほしいと願います。

みんなの感想をいくつか紹介します。読んでください。

★勉強をちゃんとする。先を読んで行動する。この話を聞いて、日本に兵士はいらないと思った。戦争はやっぱり怖いなと思った。これからも命を大切にしようと思った。自分はこれからみんなが安心、安全に生きていられるように、当たり前を当たり前で生きようと思いました。亡くなってしまった人はかわいそうだなと思いました。

★殺し合いをして解決するという考えが信じられません。関係ない人も巻き込んで、小さい子供にまで害を与える。誰か一人でもこんな考えをしないために、戦争のことを忘れずに過ごしたいと思います。

★動画の最後の方で、「戦争は人間が人間じゃなくなる」と聞いて私は鳥肌が立ちました。本当にそうなんだろうなあとと思いました。戦争に行っている人も、優しい心を持っている人もいるのに、戦争のせいで考え方がおかしくなって、仲間を当たり前のように見殺しにできるようになってしまうのは、とても悲しいなと思いました。世界から戦争が早くなくなって、「戦争しないのが当たり前」になればいいなと思った。

★この平和学習ではいつも胸が痛む。なぜなら自分は、今 14 歳で、70~80 年前だったらもしかしたら戦争に行っていたかもしれない。この証言のことを聞いて、「なんで戦争なんかするん？やる必要あんの？」と思った。ひとり一人の命を大事にするということや、これからの子どもが戦争のない時代をつくるというのを、今日学んで考えた。

★友達が目の前で死ぬなんて絶対に嫌だ。だから戦争がまた起こらないように、戦争の怖さをもっと知って他の人に伝えたりしたい。自分の意見も大事だけど、他の意見も尊重して争いが起こらないようにしたい。

★目の前で人がゴミみたいに扱われているのに何もできないのはとてもつらかったらうなあと思いました。もう過去に起きたことなのだから仕方ない・・・じゃなくて、次につなげていくにはどうしたらいいかを考えていきたいなあと思いました。私はいじめは小さな戦争だと思っています。そんな小さな戦争を、まずなくしていかないといけないと思いました。思っているだけじゃなく、実行していきたいです。

★実際に沖縄戦で戦って、奇跡的に生き残った方々の体験談を聞いて、より戦争の恐ろしさについて知ることができた。「戦争に行け」と言われて喜ぶ人も少なくなかったのは意外だと思った。正しい判断すらできなくなってしまうほど怖いものだとは思ってもみなかった。

★戦争は思ったよりもひどい争いで、すごく命をムダにしているなと思った。自分は戦争とかを経験していないけれど、それは当たり前じゃなくて、奇跡ぐらいのことじゃないかなと思った。とにかく戦争はしちゃいけないし、すごく過酷なんだなと動画を見て思った。

★今日の授業で私は今を一生懸命生きることと、命の重さ、大切さについて考えることがどんなにたいせつなのかを知りました。最近、すぐに「死ね」や「消えろ」という人が多いけど、それはすごく重い言葉だと思うので、私もたまに人が傷つくことを言うてしまうことがあるので気をつけようと改めて思ったし、今を一生懸命生きようと思いました。

★相手のことをよく知らないと、こういった戦争や争いが起こるんだと感じた。これからはひとり一人の意見を尊重しあい、話し合いだけで済むようになってほしいと考えました。二度と同じあやまちを起こしてほしくない。なくなった人の命の重みを感じてほしい。あの頃（戦時中）に比べれば、今はとても平和で幸せだと改めて感じた。

★戦争がない今では考えられないことだけど、戦争が日本でも起きていた時代は戦場に行くことが一人前とされていたのは間違いだと思った。日本は戦争に負けたから戦争がなくなったけれど、アメリカとの戦いで勝っていたら、今でも日本はいろいろな国と戦争を繰り返す

ていると思うと怖い。世界から戦争がなくなる時は、世界から人がいなくなる時だと思う。なぜなら戦争は話し合いでなんとかなるようなことじゃないし、どちらかが負けないと終わらないから。

★戦争はもう二度としてはいけないと改めて思った。インタビューなどを聞いて、戦争は本当に怖くて、みじめで、やってはいけないことなんだと強く思った。これからも戦争のみじめさを伝え続けて、絶対に戦争を起こさないというのを永遠に続けていかないといけないと思う。そして世界から戦争がなくなるといけないと思う。

★やっぱり誰でも死ぬのは怖いことなので、もう二度と戦争を起こさないようにするために、戦争の恐ろしさを忘れないようにするために、戦争の恐ろしさを伝えていかなければならないと思った。今も戦争がいつ起こってもおかしくない状況なので、ちゃんと状況を理解して、正しい判断ができるようにしたい。

★今の生活は、私の中の「当たり前」だけど、昔とは全然違っていて、本当に昔の人は苦しかったらうなと思いました。私と同じ歳の子たちが、どんどん兵隊として戦争に参加しているということを知って、「もし自分が呼ばれたら・・・」「もし、家族が呼ばれたら・・・」と考えると、すごく悲しく怖くなってしまいました。今の自分たちの生活がどれだけ平和で幸せなことか改めて実感させられました。過去の出来事は変えられないけれど、未来は変えられるので、もう二度と戦争が起こらない世界をつくりたいです。

★戦争は人の命を奪ったり、ちゃんとした生活ができなくなったりして、改めて考えるとひどいと思った。動画で見たとき、当時の人は戦場に出られることをとても嬉しがっていたけれど、自分は戦争の怖さを知っているから、戦場にでるとしても嬉しくない。これからも絶対に同じことをくりかえしてはいけないなと思った。

★戦争の怖さを知っている私たちだからこそ、戦争はダメやって言えるし、これからも戦争が起きないように今後小さい子供たちにも伝えていった方がいいと思った。戦争はいろんなものを奪って人を死に至らしめる。だから戦争をなくさないといけないと思う。

★平和の尊さや大切さが身に染みてわかりました。戦争がないということがいかに幸せか、みんなと一緒に生活できることが、どれだけ素晴らしいかというのがこういった体験談で再確認できました。私たちの一日一日が先陣たちの時代では当たり前でないということがしっかりわかりました。